



平成 28 年8月4日

各 位

会 社 名 株式会社バンダイナムコホールディングス
 代 表 者 名 代表取締役社長 田 口 三 昭
 (コード番号 7832 東証第一部)
 問 合 せ 先 取締役 経営企画本部長 浅 古 有 寿
 (T E L : 0 3 - 6 6 3 4 - 8 8 0 0)

第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年8月4日開催の取締役会において、平成 28 年5月 11 日に公表いたしました、平成 29 年3月期 第2四半期累計期間(平成 28 年4月1日～平成 28 年9月 30 日)の連結業績予想数値を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成29年3月期第2四半期累計期間連結業績予想の修正
 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	275,000	23,000	23,500	16,500	75.11
今回修正予想 (B)	290,000	32,000	32,000	24,000	109.25
増減額 (B-A)	15,000	9,000	8,500	7,500	—
増減率 (%)	5.5	39.1	36.2	45.5	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	272,780	31,160	33,215	22,762	103.61

2. 修正の理由

平成29年3月期第1四半期累計期間につきましては、ネットワークエンターテインメント事業の海外の家庭用ゲームソフトおよび国内外のネットワークコンテンツ、映像音楽プロデュース事業が好調に推移しました。

ネットワークエンターテインメント事業の家庭用ゲームソフトにおいては、欧米地域における新作タイトル「DARK SOULS (ダークソウル) III」や、リピートタイトル、自社販売網を活用した他社タイトルの販売が好調に推移しました。ソーシャルゲームやスマートフォン向けゲームアプリケーション、PCオンラインゲームなどのネットワークコンテンツにおいては、「アイドルマスター シンデレラガールズ スターライトステージ」などの国内の既存主力タイトルが安定した人気となったことに加え、アジア地域をはじめ海外で展開しているタイトルが人気となりました。映像音楽プロデュース事業においては、「ガールズ&パンツァー」シリーズが劇場版を中心に映像・音楽パッケージソフトや関連商品の販売が好調に推移しました。また、映像コンテンツと音楽コンテンツやライブイベントの連動展開を行っているIP「ラブライブ！」シリーズの人気が続きました。このほか、「機動戦士ガンダム」シリーズの映像パッケージソフトが好調に推移しました。

第1四半期連結累計期間の実績ならびに各事業の直近の事業動向を踏まえ、第2四半期連結累計期間の予想数値が、平成28年5月11日に公表しました予想数値を上回る見込みとなりましたので、表のとおり修正いたします。

なお、通期の連結業績予想数値につきましては、第3四半期連結会計期間以降に大型商戦である年末年始商戦を控えていること、さらには変化が激しい市場環境が継続していることを踏まえ、修正はいたしません。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上

<報道機関からの本件に関する問い合わせ先>

(株)バンダイナムコホールディングス

広報 IR 担当 田上・吉地

TEL:03-6634-8787